



四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

例会場：厚木アーバンホテル

例会日：毎週金曜日 12：30～13：30

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2階

厚木県央ロータリークラブ令報

<http://www.ken-ou-rotary.gr.jp/> e-mail : info@ken-ou-rotary.gr.jp TEL : 046-222-5811 Fax : 046-222-5821

**UNITE
FOR
GOOD**

よいこと
のために
手を取りあおう

2025-26年度

RIメッセージ

「よいことのために手を取りあおう」

厚木県央ロータリークラブ テーマ

「心に響く親睦 心に響く奉仕」

会 長 山口 昌興

副会長 土屋 義行

幹 事 佐藤 新也

第 1230 回 例会 (2026 年 2 月 27 日)

■点鐘 …山口昌興会長

■斉唱 …手に手つないで

■会長報告

◎ガバナー事務所 より

- ・クラブ活性化セミナー 2026 開催のご案内
- ・第2780地区ローターアクト第37回地区大会開催のご案内

◎R I 日本事務局より より

- ・ベネファクター認証 PHF 認証

■スマイル

山口昌興会長・佐藤新也幹事

本日は職業卓話例会です。岩堀さん、岸野さん、関野さん、よろしくお祈いします。

松本 豊君

山口会長、先日のゴルフお疲れ様でした。

岡見 健君

誕生日祝いありがとうございます。今朝妻から1年元気でね。と云われました。どう云う意味か？皆様も体をご自愛下さい。

職業奉仕委員会

和田貴樹副委員長・岡見 健君・春日清則君

立脇孝二君・松澤修身君・川名貴之君

本日は会員のメンバーが個人の職業と結びつけて奉仕の理想の精神を自分自身に落とし込んだ会員卓話です。岩堀会員、岸野会員、関野会員、卓話楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

落合康弘君・岸野義人君・関野耕正君・岩堀美子君
石井 卓君・木村雄大君・遠藤典孝君・今井美咲君
能勢健一君・武藤元秀君・森 志朗君・新川 勉君
スマイルボックス

■会長タイム

皆さん、こんにちは。2月25日に予定されていた、第6グループ 会長幹事ゴルフコンペは、あいにくの雨で中止となりました。しかし、有志7名で久しぶりにカッパを着てラウンドしてまいりました。松本 AG も本当にお疲れ様でした。

その夜は、厚木市スキー協会の役員会にて当クラブから支援金を授与させていただきました。青木会長からも「とてもありがたい支援です」とのお言葉を頂き、改めて地域とのつながりの大切さを感じたところです。

また、先週2月15日のチャレンジカップには、新川さんに参加いただき、メダル授与をして頂きました。ありがとうございました。こうした一つひとつの活動の積み重ねが、私たちクラブの魅力だと思います。

そして本日は、3名の会員による卓話です。皆さんのお話から、私たち自身のクラブの魅力を再発見する時間にできればと思います。



■ 今日のお花



ダリア（メキシコ）

花言葉（気品・感謝・移り気）

スイートピー（シチリア島）

花言葉（門出・優しい思い出・ほのかな喜び）

■ 例会「職業奉仕に関する会員卓話」

担当：職業奉仕委員会・会員組織員委員会

「職業奉仕」をテーマにした3名の会員による卓話の内容は、以下の通りです。

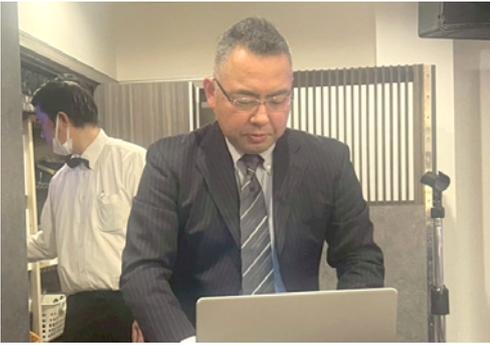


1. 岸野義人会員

「経済活動を通じた奉仕と国家への想い」

岸野会員は、ロータリークラブでの活動を通じて「奉仕の精神」への理解を深めてきた過程を語りました。

- 奉仕の定義と解釈: 「奉仕」と「ボランティア」の違いを調べ、奉仕には「尽くす」「仕える」という側面があると解釈しています。特にロータリーの歌にある「三国に捧げ」という歌詞に触れ、日本という国を大事にする姿勢が奉仕の根底にあると考えています。
- 職業を通じた貢献: 自身の仕事（製造・販売）において、単に利益を追うだけでなく、「経世済民（世を治め、民を救う）」従業員の生活を豊かにすること自体が職業奉仕であると捉えています。
- 今後の抱負: まずは自分の仕事をしっかりと成し遂げることが他者への奉仕につながると考え、今後も日本を大事にしながら、ロータリー活動にも励みたいと述べています。



2. 関野耕正会員

「建設業界による地域守護と社会貢献」

関野会員は、自身が会長を務める一般社団法人厚木建設業協会の活動を中心に、事務局長の佐藤氏を交えて発表しました。

- 業界の変遷と役割: バブル崩壊後の厳しい時代を経て、現在は「地域の守り手」として、ICT技術の導入や働き方改革を進めながら、持続可能な事業環境の構築を目指しています。
- 具体的な社会貢献活動
 - 災害対策: 市との協定に基づく除雪作業や道路パトロール、災害廃棄物保管場の整備協力などを行っています。
 - 広域連携: 東日本大震災をきっかけに、宮城県東松島市の建設業協会と災害時の相互応援協定を結んでいます。
 - 地域支援: 能登半島地震への義援金、中央図書館への建設関連図書の寄贈、あゆまつり等のイベント支援(Tシャツ協産)、道路の危険箇所の提案(累計2,356件)など、多岐にわたります。
 - 建設フェスタ: 市民に建設産業の役割を知ってもらい、会員が仕事に誇りを持てるよう大規模なイベントを開催しています。



1. 岩掘美子会員

「飽くなき挑戦心 やりたい病 と保育事業」

岩掘会員は、84歳という年齢を感じさせない活力に満ちた自身の歩みを「やりたい病」という言葉で振り返りました。

- 起業の原点: 両親が運営する鈴木学園で働いた後、貯めた資金で婦人服・学生服の販売店を創業しました。「仕事にはお金を出さない、自分の力でやりなさい」という母の強い教えが自立心の糧になったと語っています。
- 保育事業への転換と苦難: 60歳を過ぎてから保育事業に参入しました。当初は株式会社による運営に周囲の反対があり、情報が入らないなどの苦勞もありましたが、それを打破するために社会福祉法人を設立しました。
- 事業の拡大: その後、約10年間で大和市、相模原市、海老名市、厚木市などに計8つの園を設立しました。現在はNPO法人も立ち上げ、計16の施設と350名の職員を抱える規模となっています。
- 信念: 体が許す限り、今後も自身の「やりたいこと」を通じて社会に貢献し続けたいという意欲を示しました。

今回の卓話は、それぞれの会員が長年の経験に基づき、「自分の仕事に励むこと」や「地域を守ること」、「新たな挑戦を続けること」がいかに奉仕の精神と結びついているかを共有する貴重な機会となりました。

■ソングリーダー



立脇孝二君

■PHF表彰



山口昌興君

■お祝い行事 「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

* 会員誕生日

岡見 健君 (27日)



■出席報告 <会員 36 名、出席対象 33 名>

2月27日例会 出席 27名 欠席 6名 出席率 81.82%